

Hello! FUJISEI

No.28

人生80年時代、かつては長寿社会と言われ、明るいイメージがありました。しかし、いざ高齢社会が現実のものとなってみると、第二の人生とも言える“延びた老後”をどのように過ごすのかということが大きな問題となっています。

金融広報中央委員会の「平成22年家計の金融行動に関する世論調査（2人以上世帯調査）」によると、老後の生活について「心配である」（「非常に心配」と「多少心配」の合計）と答えた世帯は、約8割となっています。

「心配である」としている世帯では、その理由について「十分な金融資産がないから」が8割弱、「年金や保険が十分ではないから」が約7割となっています。

老後の生活費の収入源については、「公的年金」とした世帯が約8割、「金融資産の取り崩し」が4割強、「就業による収入」が約4割、「企業年金、個人年金、保険金」が4割弱でした。

やはり老後生活資金として誰もが軸として思い描き、頼りにしているのは公的年金のようですが、その年金に対する考え方については、「日常生活費程度もまかなうのが難しい」と回答した世帯は5割弱、「ゆとりはないが、日常生活費程度はまかなえる」は約5割で、「年金でさほど不自由なく暮らせる」は1割弱にす

第二の人生、どのように過ごされますか？

公的年金以外にも準備が必要です！

ぎませんでした。

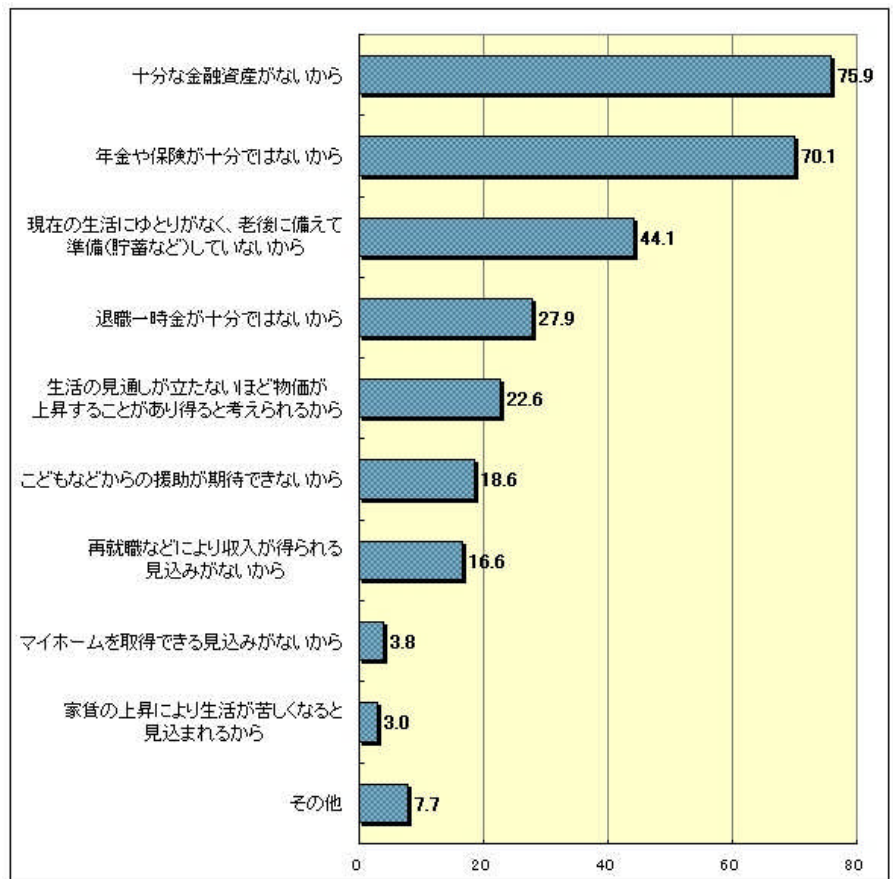
日常生活費だけでなく、どうしてもリスクの高くなる医療・介護への備えもしなければなりません。そして、旅行や外出などを楽しむためのゆとり資金も。早めに、計画的に準備しておく必要がありますね。

老後生活の収入源（3つまで複数回答）

(%)

就業による収入	38.4
公的年金	80.6
企業年金、個人年金、保険金	36.4
金融資産の取り崩し	42.1
利子配当所得	2.6
不動産収入（家賃、地代等）	4.7
子どもなどからの援助	4.8
その他	4.4

老後の生活を心配している理由（複数回答）〈老後の生活を心配している世帯〉



金融広報中央委員会「平成22年 家計の金融行動に関する世論調査」〔二人以上世帯調査〕